

2024年2月29日（木）  
奈良県橿原総合庁舎 4階研修室

奈良県市町村職員のための奈良県の土地の管理・利用の促進のための講習会  
農地・森林の適正な管理・利用の在り方  
都市近郊の森林の管理・利活用の取組  
（陽楽の森）

谷林業株式会社 代表取締役  
一般社団法人大和森林管理協会 理事  
谷茂則



# 都市部森林管理、活用の実情、問題点等

都市近郊林の一般的な姿は、元々、農用林として利用（肥料、焚き付けなど）されながら、結果的に管理されてきたクヌギやコナラなどの雑木林。その他は、林業投資のスギ・ヒノキなどの人工林や竹林。

エネルギー革命（昭和30年頃）以降、役割を喪失し、放置。

都市計画による市街化区域は宅地開発されたが、その他は森林のまま残った。

その後、全く利用価値が無くなり、活用されず、放置されている

活動あったとしても森林ボランティア程度

相続税評価額など高い（弊社は、面積が多く、特に高額の評価になる）

市街化調整区域など規制が強く開発などは不可能に近い

仲介媒体や専門家がおらず、流動性低い（仲介媒体がない）

森林所有者は森林の所有に興味を失っている

団塊の世代の森林所有者を最後に次世代は、打つ手がない

結果、境界線どころか所有者まで不明になるという悪循環の真ただ中

結果、利用するまでに手間がかかる林分がほとんどで手がつけられない

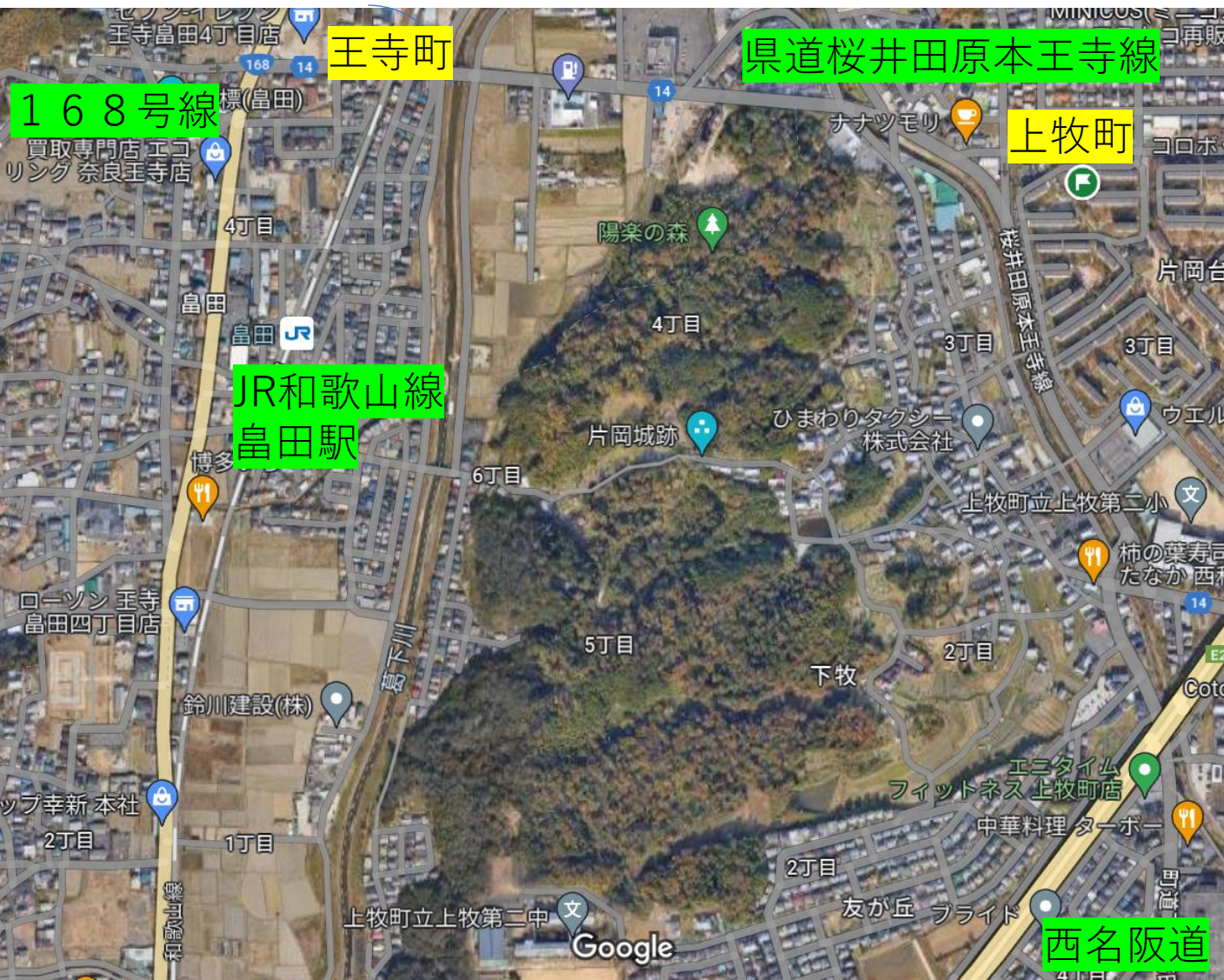


## 利用価値を失い放置され、荒れ果てる森林



# 王寺町と上牧町の町境 陽楽の森

## 誰にも見向きもされない陽楽の森



- ・市街化調整区域
- ・かつては太いササが生え茂り、誰も立ち入らない。
- ・境界も不明瞭で、わからない。
- ・加えて相続税評価も過大評価される。
- ・所有する利点が見当たらず、売却を希望した。
- ・売却先を探すか、買い手は現れなかった。
- ・そんな誰にも見向きもされない森林だった





# 取組の背景、きっかけ、活動開始時期

平成19年頃、林業後継者の実習として森林整備開始

平成23年頃、吉野林業地の作業道実習地として作業道整備

作業道開設がきっかけになり人が自動車ですぐ森林に入れるようになる。

整備が進み明るい森林になった。

隣接のカフェオーナーとの出会い。『フェスやりませんか?』

イベント・チャイムの鳴る森の予期せぬ成功。5000人の集客を実現。

山間部の林業も構造的な問題点が多く。

もしかしたら林業・森林利用の事業展開にイノベーティブな展開に繋がるかもしれない

生コンプラント跡地取得

## 森林整備とイベントの予期せぬ成功





# 陽楽の森の具体的な取組み、関係する人材、ネットワーク

NPO法人なないろサーカス団（障害者就労支援）

株式会社どすこい（放課後デイケア）

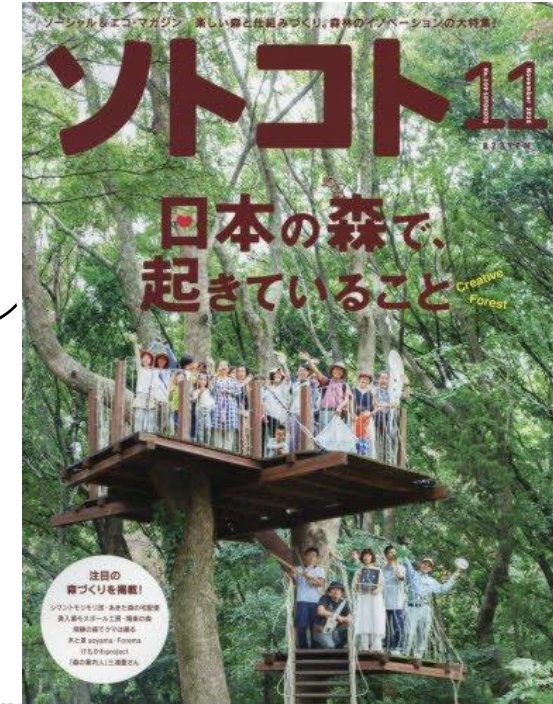
任意団体みんなでつくる（森林整備）

株式会社青春（イベント開催・クリエイティブ・カフェ経営・地域活性化コンサル）

一般社団法人大和森林管理協会（市町村コンサル、薪ストーブ・ボイラー販売）

NPO法人奈良ストップ温暖化の会（奈良県地球温暖化防止推進センター）

森川商店（障害者就労支援から独立→薪生産）



## 増える仲間と利用価値が出てきた陽楽の森





# 活動開始時から現在の変化や取組の成果

- ・奈良セブンの森（セブンイレブン記念財団、王寺町、上牧町、近畿大学農学部）連携協定締結
- ・環境省 自然共生サイト・OECM認定
- ・奈良県地球温暖化防止活動推進センター陽楽の森支部開設
- ・ピエクレックス（村田製作所・帝人フロンティアの合併会社）と循環インフラP-FACTSの堆肥化拠点に
- ・森林吸収源Jクレジットの組成

脱炭素社会やローカルSDGs という時流のトレンドもあり、様々な連携が始動し、日常的に人が往来・作用しながら結果的に森林環境が維持される流れに発展してきた。



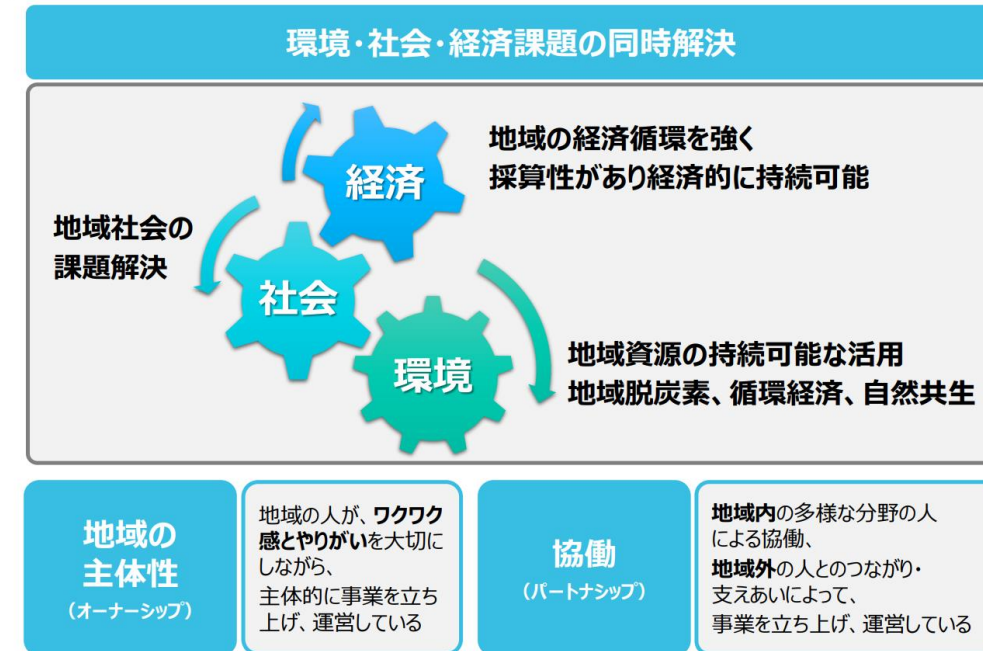


# 現状の課題

- ・事業活動としてはスタートアップ段階の困難な時期。
- ・仮説実験検証からの予期せぬ発展なので目標、目的が不明瞭  
借り物の言葉が多いので、血の通った言葉にしないといけない
- ・ステップアップするための資金調達の難易度が高い（環境系や林業系の助成制度に依存。自立自走体制への壁が高い）
- ・担い手人材の不足。革新性、専門性、領域横断性が高く、雇用や育成の難易度が高い。
- ・仕組みとして機能するには欠落している要素がある  
（都市林業、森林売買バンク、森林プラン、造林育林、脱炭素不動産、脱炭素コンサル、森林サービス産業など）

社会実験的な取組から事業として自立自走するフェーズへ発展できるか？

## 地域循環共生圏（ローカルSDGs）の三原則



## 地域と社会の変革のために、何をすべきか

### 「3つの移行」で経済社会をリデザイン（再設計）

### ⇒地域循環共生圏（ローカルSDGs）の創造

#### カーボンニュートラル（脱炭素）

- 地域脱炭素の推進
- (株)脱炭素化支援機構の出資制度
- 住宅建築物のZEH・ZEB化推進
- 断熱窓への改修促進
- 商用車の電動化促進

#### サーキュラーエコノミー（循環経済）

- プラスチック資源・金属資源等のバリューチェーン脱炭素化のための設備高度化
- バイオマスプラ、SAF、PV、金属、地域廃棄物バイオマス等の省CO2化実証
- 持続可能な廃棄物処理体制構築

#### ネイチャーポジティブ（自然再興）

- 30by30目標達成に向けた国立・国定公園の新規指定等の推進
- 民間取組の認定等によるOECDM推進
- 国立公園満喫プロジェクト

# 法隆寺・吉野林業フォレストロニカ 山守・フォレスター養成プロジェクト

世界最古の木造建築物法隆寺が存する町で、人と自然との有志来最高の森林経営管理PJ吉野林業や里山林業が行われている。全世界から人が見に来るようなシステム構築を行う。

大和森林管理協会 (HD)

## 西和地域陽楽プロジェクト

## 吉野林業プロジェクト

文化遺産の会

橿原神宮  
古木管理

対人接点づくり

青春

フォレストタウン  
株式会社

バームクーヘン・BBQ・焚火バー  
・旅行業・森林利用・セラピー  
・不動産・エコ住宅・果樹・木工木育

都市林業  
現場

吉野山主有志の会  
Jクレジット・木材輸出・集約化・

大和小規模  
林業者労災組合

安全大会

天川地域圏プロジェクト  
温泉、Jクレジット、捨伐間伐、旅行、  
キャンプ、レストラン、

KUBERU  
・アーキ  
薪ボイラー・薪ストーブ・  
レク・アウトドアグッズ・  
チップボイラー

脱炭素

森林・林業

チャイ森などフェス

NPO

温暖化防止適応センター

普及啓発・社会実装・計画コンサル・  
重点加速化事業・基盤事業・サロン  
クレジットプロバイダー

中間支援組織

みんつく

自然共生サイト・苗畑・薪  
・コンポスト・炭・セブンの森

大和川流域圏森林組合

地域林政アドバイザー  
・森林売買・都市林業・集約化  
・クレジット創出・森林調査評価  
市町村森林整備計画  
地域森林計画  
森林経営計画樹立コンサル  
森林施業プラン樹立  
山主相談会・企業の森  
作業道開設、素材生産、植林、  
造林

川上地域圏プロジェクト

なないろ  
どすこい



閉鎖的範囲で、林業の上下流の連携を創り出す。  
 その他の領域を森林に呼び寄せ新たな可能性を探る

**陽楽の森拠点の整備**

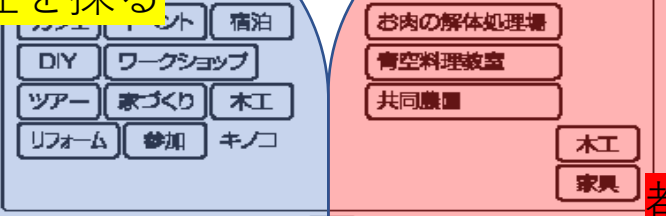
- ・森のカフェ
- ・パン屋、コーヒースタンド
- ・バームクーヘン販売
- ・木工施設
- ・大和森林管理協会事務所
- ・奈良地球温暖化防止推進センター事務所

多くの人が日常的に集まる仕組み  
 様々テーマへの導線



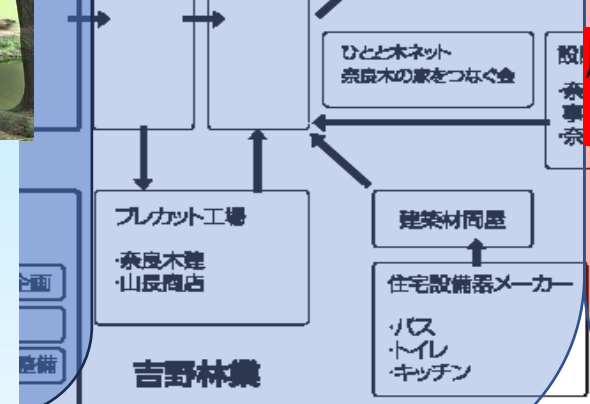
林竹具亦明且

**陽楽の森株式会社**



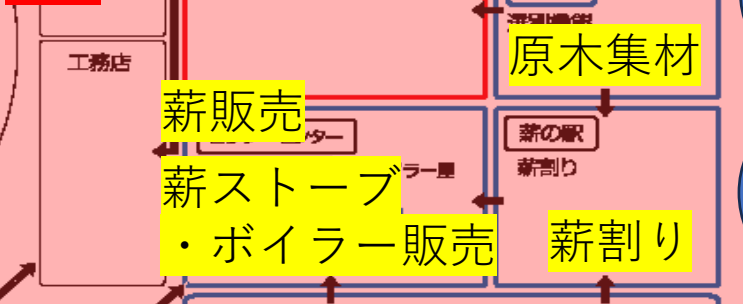
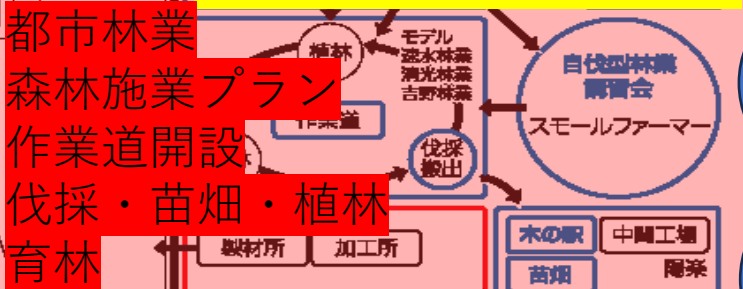
楽しい、将来に希望が持てるなど前向きな価値を提示し、実現し続ける。

環境省自然共生サイト認定  
 利用価値のない山に利用価値が生まれ、生物多様性や脱炭素の課題にアプローチしながら解決に向かう。  
 地域に生かされる森林が増加  
 関わる人も増加



**陽楽の森プロジェクト**

- 大和森林管理協会
- ・市町村林政部門
- ・森林売買バンク
- ・森林吸収源Jクレジット

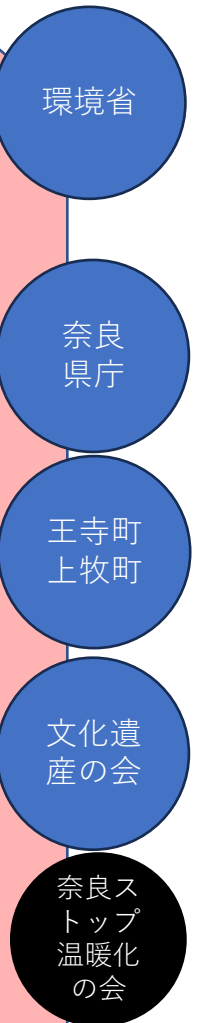


- 脱炭素ライフ推進事業
- ・エコ賃貸住宅
- チャイ森
- エコフェスタ
- ワークショップ
- セブンの森

- 新しい価値の創出
- ・森林空間利用
- ・森林吸収源
- ・エネルギー等

- 障害者就労支援
- 障害者放課後デイケア

- カフェ・パン屋
- コーヒースタンド
- バームクーヘン



脱炭素

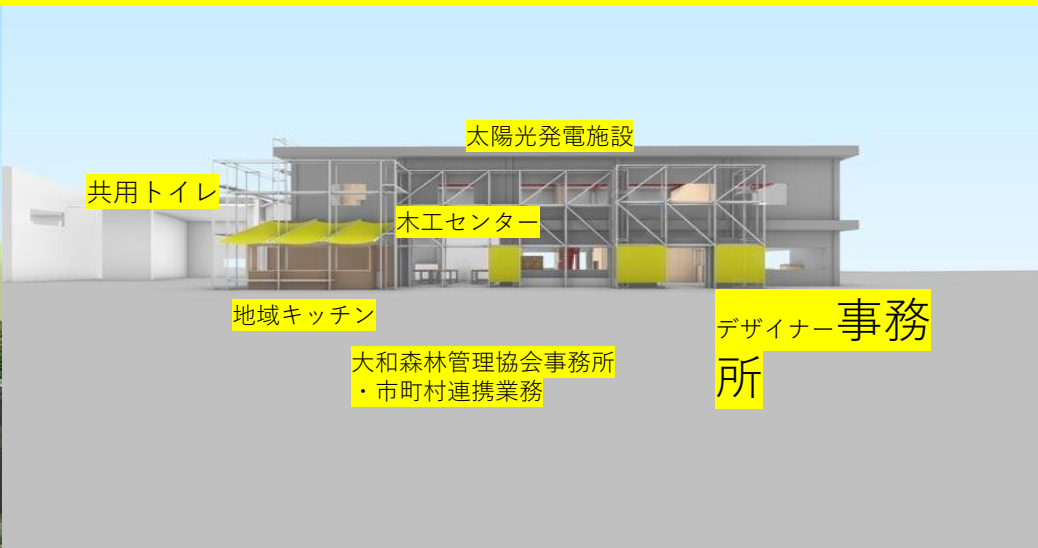


# 陽楽の森含め、民間事業者として森林管理、活用事業の展開

- ・気軽に楽しめる入口の整備。
  - カフェの誘致、エコフェスタ・マルシェなどの開催
- ・深いテーマへつながる導線の整備。
  - 都市林業、森林売買バンク、森林プラン、造林育林、脱炭素エコライフ不動産、脱炭素コンサル、森林サービス産業など

・脱炭素社会実現などの大きなテーマを血の通った言葉で共有し、実現させながらも、森林管理経営が進捗していく自立自走できるスキームを実現させたい

・林業をどうにかするという視点から脱却し、森林を受け入れる社会構造づくりという視点にシフトさせていく。森林と人の日常生活が無理なくつながる社会構造をいかに創るか、社会と自然がつながる無数の接点を準備していくことが重要





# 法隆寺フォレストロニカ



アルスエレクトロニカの挑戦  
鷲尾和彦 編  
協力：アルスエレクトロニカ+情報部



世界最古の建築物法隆寺

世界的森林経営管理システム吉野林業

森林と親しむ人々の暮らし方、ライフスタイルが実現されている地域

森林も町も美しく保たれ

脱炭素や多様性などの先進地にもなる

→世界の森林経営管理地として海外からも視察に来るような森林フェスティバル

→コンペ

→ミュージアム

→フューチャーラボ

※アルスエレクトロニカ

市民を巻き込んだフェスティバルと国際コンペ、ミュージアムや産業創出拠点の設立を通して変貌したリンツのクリエイティブメソッド人口20万人の町リンツは、市民を巻き込みながら最先端のメディアアート・フェスティバルや国際コンペを開催、教育拠点のミュージアムや産業創出拠点のラボを設立、衰退した工業都市を創造都市へ変貌させた。市民を主体に約40年をかけた町のイノベーションに、都市政策・ブランディングに必要なクリエイティブメソッドを学ぶ

プロローグ：オーストリアの地方都市で出会ったアートフェスティバル

1章 地方都市で生まれたメディアアートの祭典

2章 公営企業としてのアルスエレクトロニカ

3章 挑戦1・フェスティバル—市民のためのクリエイティビティ

4章 挑戦2・コンペティション—国際的ネットワークの中心になる

5章 挑戦3・ミュージアム—市民の創造性を育む場所

6章 挑戦4・フューチャー・ラボ—クリエイティブ産業創出の拠点

7章 リンツ市とアルスエレクトロニカ—経済政策と文化政策の両立が社会の質を決める

エピローグ：変化にオープンでポジティブな都市

忘れられた地域の森林に  
再びスポットが当たれば、  
脱炭素社会の実現も夢で  
はなくなる